

科目名	電子回路 I	英文表記		Electronics Circuits I		2014/2/26	
科目コード	3212						
教員名:比嘉勝也 技術職員名:						作成	
対象学科／専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報通信システム工学科		3年	必	履修	2単位	講義	通年
科目目標	アナログ回路で使用される基本素子(抵抗、コイル、コンデンサ、ダイオード、トランジスタ)の動作原理および基本的なアナログ回路(電力増幅回路・発振回路・変調回路)の構成や動作を理解し説明できることを目標とする。						
総合評価	前期・後期評価:定期試験(中間・期末)の平均 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合	
	①電子回路の構成素子	- ダイオードの特徴を説明できる。 - pn接合の構造を理解し、エネルギーバンド図を用いてpn接合の電流－電圧特性を説明できる。 - バイポーラトランジスタの特徴と等価回路を説明できる。 - バイポーラトランジスタの構造を理解し、エネルギーバンド図を用いてバイポーラトランジスタの静特性を説明できる。 - 電界効果トランジスタの構造と動作を説明できる。 - FETの特徴と等価回路を説明できる。		⇒	正しく説明できるか定期試験および講義での小テストで評価する。	10%	
	②増幅回路	- 利得、周波数帯域、インピーダンス整合等の増幅回路の基礎事項を説明できる。 - トランジスタ増幅器のバイアス方法を説明できる。		⇒	正しく計算できるか定期試験および講義での小テストで評価する。	70%	
	③演算増幅器	- 演算増幅器の特性を説明できる。 - 反転増幅器や非反転増幅器等の回路を説明できる。		⇒	正しく設計・構成ができるか定期試験および講義での小テストで評価する。	10%	
	④電気回路復習	- 合成インピーダンスや分圧・分流の考え方を説明し、これらを交流回路の計算に用いることができる。 - 直列共振回路と並列共振回路の計算ができる。 - 理想変成器を説明できる。		⇒	正しく設計・構成ができるか定期試験および講義での小テストで評価する。	10%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	○		◎				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		80	20	0	0	100	
基礎的理解	1、3	40	10			50	
応用力(実践・専門・融合)	1、3	40	5			45	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲	1、3		5			5	
授業概要、方針、履修上の注意	本講義では、アナログ回路で使用される基本素子(抵抗、コイル、コンデンサ、ダイオード、トランジスタ)の動作原理および基本的なアナログ回路の構成や動作を図解中心で講義を行う。 本講義により基本的なアナログ回路を自分で構成できるようになるのが望ましい。						
教科書・教材	1. 電子回路(1)アナログ編、赤羽進、コロナ社 2. 自作資料:学習達成度チェック(自作)(講義後、毎回行う)						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	半導体、pn接合(科目目標①)	2	半導体(p型 n型)について		
2	ダイオード(①)	2	ダイオードの構造および電流電圧特性について		
3	バイポーラトランジスタの基本構造(①)	2	バイポーラトランジスタの構造(npn、pnp型)について		
4	バイポーラトランジスタの接合方式(①)	2	バイポーラトランジスタの接続方式と電流電圧特性		
5	トランジスタの負荷線1(②)	2	バイポーラトランジスタ増幅回路の考え方(直流負荷線)1		
6	トランジスタの負荷線2(②)	2	バイポーラトランジスタ増幅回路の考え方(直流負荷線)2		
7	トランジスタの負荷線3(②)	2	バイポーラトランジスタ増幅回路の考え方(交流負荷線)		
8	中間試験	2	これまで学んだ範囲で試験を行う。		
9	試験返却・問題解説	2	試験内容の解説を行う。		
10	バイアス回路の計算(②)	2	直流動作回路の考え方・計算方法について		
11	電界効果トランジスタ回路1(②)	2	電界効果トランジスタの構造と電流電圧特性について		
12	バイポーラトランジスタ等価回路(①)	2	T形・hパラメータを用いたトランジスタ等価回路について		
13	電界効果トランジスタ効果回路(①)	2	電界効果トランジスタの等価回路と計算方法について		
14	増幅回路の計算方法1(②)	2	増幅回路の計算方法について		
15	増幅回路の計算方法2(②)	2	増幅回路の計算方法について		
期末	前期末試験	[2]	これまで学んだ範囲で試験を行う。		
16	試験返却・問題解説	2	試験内容の解説を行う。		
17	RC結合増幅回路(②、④)	2	RC結合増幅回路の機能・計算方法について		
18	増幅回路のコンデンサ(②、④)	2	回路内のコンデンサの働きについて		
19	トランス結合回路(②、④)	2	トランス結合増幅回路の機能・計算方法について		
20	負帰還増幅回路(②)	2	負帰還増幅回路の機能・計算方法について		
21	A級増幅回路1(②)	2	A級増幅回路の計算方法について1		
22	A級増幅回路2(②)	2	A級増幅回路の計算方法について2		
23	中間試験	2	これまで学んだ範囲で試験を行う。		
24	試験返却・問題解説	2	試験内容の解説を行う。		
25	B級増幅回路1(②)	2	B級増幅回路の計算方法について1		
26	B級増幅回路2(②)	2	B級増幅回路の計算方法について2		
27	ダーリントンコンプリメンタリ接続(②)	2	ダーリントンコンプリメンタリ接続について		
28	差動増幅回路(②、③)	2	差動増幅回路の機能・計算方法について		
29	OPアンプ(③)	2	OPアンプ・発振回路・変復調回路などについて		
30	増幅回路の設計方法(②、④)	2	増幅回路の設計・計算方法について		
期末	後期末試験	[2]	これまで学んだ範囲で試験を行う。		
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①				各2時間×30回	
②				各5時間×2回	
③					
備考欄					
この科目の主たる関連科目は、電気回路Ⅰ(2年)、電気回路Ⅱ(3年)、電子回路Ⅱ(3年)					